

平成 22 年 8 月 3 日

当所 3 号機の炉心性能計算機プログラムの計算式における一部誤りについて

当所は、平成 22 年 7 月 2 日、3 号機の原子炉内に装荷している燃料集合体の性能を監視しているプログラムの納入メーカより、当該プログラムの計算式の一部に誤りが見つかり、計算結果にわずかな誤差が生じているとの連絡を受けました。

そのため、本件について安全への影響がないことを確認するとともに、7 月 6 日、当所の不適合管理委員会で審議し、公表区分「その他」の不適合として当所ホームページに不適合件名を掲載しました。

また、本件については、7 月 5 日に経済産業省原子力安全・保安院へ連絡し、随時情報提供を行うとともに、福島県へも 7 月 9 日に情報提供を行っています。

本日、改めてその結果を経済産業省原子力安全・保安院に説明しましたのでお知らせいたします。

[不適合件名については[こちら](#)]

【事象の概要】

燃料集合体の性能を監視しているプログラムの計算式において、原子炉内の出力分布を測定する、中性子計測系局部出力領域モニタ*の検出器感度を補正する係数の分母と分子が逆に設定されていたことから、燃料集合体の出力の計算結果にわずかな誤差が生じたというものです。

【確認の結果】

当所 3 号機（現在、定期検査中）では、平成 12 年 2 月より当該プログラムを使用しておりましたが、計算式の一部が誤っていたことによる影響を確認した結果、プラント運転時における燃料集合体の出力の変動範囲と同程度のわずかなものであり、安全への影響がないことを確認しております。

【対応】

7 月 15 日、3 号機の炉心性能計算機のプログラムの計算式を修正しました。

以 上

* 中性子計測系局部出力領域モニタ

原子炉内の中性子量を計測する装置の一つで、原子炉の通常運転中に原子炉出力状態を測定するための装置。